

6月 ベルだより

2024年(令和6年)6月28日
福山市立西幼稚園

補聴器についてープール遊びの話ー

補聴器や人工内耳は身につけて音を聞こえやすくする器具です。難聴学級の子ども達は、それぞれ自分の聞こえの状況によって必要な器具を装着しています。



★耳かけ形の補聴器



★人工内耳
内耳の働きをする医療器具です

補聴器はとても壊れやすいものです。園生活の中でもあたって落ちたり、水に濡れたり、砂が入ったりすると、壊れたり機械の調子が悪くなったりしてしまいます。少しの湿気でも微妙に音が変わることもあり、とても敏感に変化があらわれます。

特にプール遊びや水遊びの時期は、そういった状況が起こりやすい時期でもあります。補聴器や人工内耳をみんなで大切にしていけるよう、聴覚障害を持つ子ども達にとってどのような意味がある器具なのか、こういった場面に留意しなくてはいけないのか、折を見てクラスの友達にも伝えていっています。

こんな取り組みをしています

補聴器を外したり、人工内耳に防水カバーを付けたりすると、いつも以上に音が聞こえにくくなります。
「肩をトントンすると気づきやすいよ」など、伝わりやすい方法を周りの友達にも知らせていっています。



自分の大切な器具という意識を持てるよう、ケースの置き場所を一緒に決め、教師の見守りの中で少しずつ自分でも準備や管理ができるよう取り組んでいます。(5歳)

手話

“天気”を表現してみましょう

晴れ



両掌を顔の前でクロスさせ、左右に開く。

雨



両手指先を下に向ける。

かみなり



指先で稲光を表す。

虹



頭上で指文字の七を右から左に動かす。